

令和6年度 鹿児島県コミュニティづくり推進大会

第68回

《大会テーマ》

ホンネで語り，ホンキで考える，
「次世代に託すコミュニティ」づくり

- ・ 日時：令和7年2月4日（火）13：00～16：25
- ・ 場所：【推進大会】 カクイクス交流センター県民ホール
【地域貢献活動パネル展】 “ 県民ホール ホワイエ

- | | | |
|---|---|-------------|
| 1 | 開会の挨拶
鹿児島県コミュニティづくり推進協議会会長 | 13：00～13：05 |
| 2 | 表彰式
鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰

～ 休 憩（10分）～ | 13：10～13：30 |
| 3 | 基調講演
《 テーマ 》日本の未来は地方が変わる ～希望ある人口減少時代へ踏み出す一歩～
《 講 師 》田中 輝美 氏（島根県立大学地域政策学部准教授，ローカルジャーナリスト）

～ 休 憩（15分）～ | 13：40～14：50 |
| 4 | パネルディスカッション
《パネリスト》
田中 輝美 氏（島根県立大学地域政策学部准教授，ローカルジャーナリスト）
加藤 潤 氏（NPO法人頼娃おこそ会副理事長，株式会社まるのこラボ代表取締役，
株式会社オコソコ プロデューサー，コミュニティ大工）
白水 梨恵 氏（一般社団法人横川 kito 代表理事）
《コーディネーター》
市村 良平 氏（株式会社スタジオグッドフラット代表取締役） | 15：05～16：25 |
| 5 | 閉 会 | 16：25 |

主 催：鹿児島県コミュニティづくり推進協議会
共 催：鹿児島県
後 援：鹿児島県教育委員会

令和6年度 鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰

鹿児島県コミュニティづくり推進協議会では、共生・協働による地域社会づくりに積極的に取り組み、成果を上げている団体・企業・学校を、共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体として表彰し、広く県民に紹介しています。

〈地域コミュニティ組織部門〉

優 秀 賞	米ノ津東地区コミュニティ協議会	出 水 市
「この地に生まれ、住んで良かったと誇りを持って言える地域にしよう」を基本理念に、生活環境整備や地区自治会の交流を図り、住民が共に助け合いながら活動を進めている。耕作放棄地の活用や空き家対策事業などとともに、住民の健康寿命を延ばすためにコロナ禍においてもDVDを作成しながら継続した健康体操等の独自の取組に加え、近年は地域で働く外国人との交流事業を行うなど、住みやすく個性豊かな地域づくりに積極的に取り組んでいる。		
優 秀 賞	大馬越地区コミュニティ協議会	薩摩川内市
平成18年度からコミュニティビジネスとして、地域の耕作放棄地で栽培したシソを原料にした「しそジュース」の製造・販売を始め、現在では豆腐や味噌など約20種類の特産品を販売している。高齢者の買い物支援や安否確認を兼ねた「軽トラック移動販売車」を導入し、高齢者が安心して暮らせる郷づくりに加え、従来の市内各所の販路から、市外に販路を拡大するなど、積極的に事業を展開している。		
奨 励 賞	平田潟公民館	枕 崎 市
長く水害に悩まされた地域において、住民の安全を守るための自主防災組織の結成を機に毎年実施している自主防災訓練では、アルファ米の炊き出し体験など、具体的・実践的な訓練を行っている。防災活動や地域行事において幅広い世代がつながる場を積極的に設け、世代間交流を生み出し、助け合う共助の体制を構築している。このような自主防災組織や地域行事を通した「つながり」づくりは、枕崎市内73自治公民館の中のモデル地区の一つとなっている。		

〈NPO 部門〉

優 秀 賞	秋名さねん花	龍 郷 町
龍郷町地域包括センターを拠点にした「支え合いマップ」の作成を契機に、住民の生活支援や地域課題の解決を目的に結成。毎月の活動定例会において情報共有や意見交換を行っている。地域の状況や課題に応じ、子ども食堂「マンカイ食堂」の運営、商店サロンを通じた居場所・世代間交流の場づくり、小中学生の登下校や単独世帯高齢者の見守り活動、地域防災活動等の様々な地域支援を継続して行っており、若い世代から高齢者まで広く係わりながら、精力的に活動している。		

〈企業部門〉

会 長 賞	株式会社 トヨタ車体研究所	霧 島 市
社員による集落活動やイベントへの参加、地域ブランド米の社員食堂での利用イベントを実施するなど、地域集落の活性化の活動を積極的に行っている。また、第一工科大学や県立福山高校と連携した「継続的改善」の講義や課題解決型授業の実施、霧島市とのパートナーズ協定による市有林の森林整備や市民への環境啓発に貢献している。さらに、海岸清掃等の環境保全活動など、様々な分野で「地域社会との調和を考えた事業活動を通じて、地域貢献ができる企業をめざす」同社の基本理念に基づいた活動を推進している。		
会 長 賞	株式会社 奄美大島開運酒造	宇 検 村
創業者の私財を基にした基金を活用しながら、教育の充実や地域コミュニティづくりに積極的に取り組んでいる。地元警察・消防・地元企業等と連携して開催する「蔵まつり」は住民の交流の場となり、地域の活性化に寄与している。台風や大雨後には観光施設の清掃を行い、「自然環境プロジェクト」として黒糖焼酎の売り上げの一部を奄美大島の自然環境保護のために宇検村へ寄付を行うプロジェクトを立ち上げるなど、地域の環境保全活動にも力を入れている。		

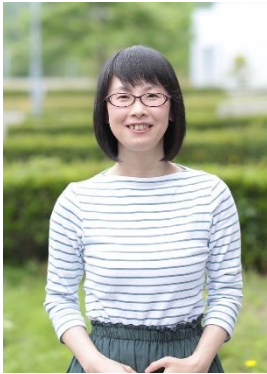
〈学校部門〉

奨 励 賞	鹿児島県立頤娃高等学校	南 九 州 市
「総合的な探究の時間」を中心に、南九州市の基幹産業である「茶業」をテーマに課題解決学習を進め、地元企業と連携した「一番茶飲み比べセット」の商品開発、地域イベントに企画段階から関わって開発商品を販売し、知覧茶ふるまいボランティアを行うなど、知覧茶の広報活動に貢献している。これらの活動を通じ、生徒が主体的に地域の課題を考え、行動に起こすことで、郷土への愛着を醸成し、地域のために行動し地域を支える人材の育成を目指している。		

プロフィール

【基調講演 講師/パネルディスカッション パネリスト】

田中 輝美 氏 [島根県立大学准教授/ローカルジャーナリスト]



島根県浜田市出身・在住。大阪大学文学部卒業後、山陰中央新報社に入社。報道記者として医療、教育、地域づくりなど幅広い分野を担当し、2013年新聞協会賞を受賞。2014年に同社を退社し、島根に暮らしながら地域のニュースを記録、発信する「ローカルジャーナリスト」という肩書きをつくり独立。その後、大阪大学大学院で関係人口を研究し博士(人間科学)を取得。

2021年、島根県立大学地域政策学部に着任。著書に『関係人口の社会学』(大阪大学出版会)『日本の未来は島根がつくる』(山陰中央新報社)など。2023年、地元の浜田市美又地区にある築87年の旧農協を取得し、宿泊とイベントが可能な「美又共存同栄ハウス」に改修して運営している。

【パネルディスカッション コーディネーター】

市村 良平 氏 [株式会社スタジオグッドフラット代表取締役]



企画・プロデューサー。島根県生まれ。鹿児島大学大学院修了(建築学専攻)後、鹿児島市内の商業施設でコミュニティスペースの企画運営を担当。独立後は、中心市街地活性化や公共空間の利活用、男女共同参画、子育て支援など、社会課題解決に向けた取組をサポート。計画策定や計画実施に伴うマネジメント、イベントの企画・運営(コーディネート・ファシリテーション)を行う。地域のあらゆる力が発揮される機会と環境作りを目指す。2023年より惣菜店「笹貫キッチン」をオープンし、地域の暮らしをサポートする取組も進めている。

【パネルディスカッション パネリスト】

加藤 潤 氏 [NPO法人頼娃おこそ会副理事長/株式会社まるのこらぼ代表取締役/
株式会社オコソコ プロデューサー/コミュニティ大工]



埼玉県から鹿児島県頼娃町にIターン移住し、タツノオトシゴ観光養殖場を運営。その後、NPO法人頼娃おこそ会を通じ、地域と行政と観光を繋ぐ活動に取り組む。

昨今は、地域おこし協力隊運営などの行政連携事業に取り組むとともに、「コミュニティ大工」として、県内外での空き家再生活動等に尽力している。

【パネルディスカッション パネリスト】

白水 梨恵 氏 [一般社団法人横川 kito 代表理事]



鹿児島市生まれ。大学時代に大分県別府市でまちづくり活動に関わり、卒業後は企業にて特産品販売 EC・商品開発に従事したのち、社会起業支援や人材育成を行うNPO法人にてコーディネーターを経験。

2013年、鹿児島へUターン。2020年11月、霧島市横川町に地域活性化を目的とした一般社団法人「横川 kito」を設立し、カフェやゲストハウスを運営しながら、県内の地域づくりの事業にも取り組んでいる。

【 司 会 】

鹿児島純心女子高等学校 放送部